

## 南部・東部地域振興対策特別委員長報告

南部・東部地域振興対策特別委員会における、これまでの調査並びに審査の経過についてご報告申し上げます。

昨年七月の委員会設置以来、南部地域・東部地域の振興に関することについて、県内の実情を含め、各般にわたり調査並びに審査を行ってまいりました。

また、平成二十三年九月に県南部地域を中心に発生した紀伊半島大水害からの復旧・復興について、現在も懸命な対策が進められているところですが、継続して現状と取組についての、報告を受けているところです。

まず、初度委員会においては、地域振興策、林業振興策、災害対策や道路等の基盤整備等の主要な施策の概要について説明を受け、続く県内調査では、「宇陀市立室生保育所」での県産材を利用した公共建築物、さらには、紀伊半島大水害による被災道路である国道三六九号復旧工事現場、そして、いのちの教育の実践の場及び東部周遊観光の拠点施設である「うだ・アニマルパーク」、食・農・観の中南和の拠点施設である「JAならけん まほろばキッチン」について、とりわけ、東部地域の振興を図る施策の調査を行ったところです。

次に、九月定例会においては、公共建築物の木造木質化の推進をはじめ、県産材の利用を促すため補助政策の対象を拡大すること、先進地の例を参考にした木質バイオマス利活用の促進、土木工事の契約に当たり、事前に適正な積算に努めること、十津川村における堆積土砂の状況について、現状や取組内容を住民や県民へ周知することなどの

要望がありました。

次に、十二月定例会においては、提出予定議案の他、へき地教育等の取組について説明を受けるとともに、全国豊かな海づくり大会を契機とした山づくりへの取組、さらには、五條市、野迫川村、十津川村での復興住宅建設の進捗状況、深層崩壊セミナーの開催などについての質疑が行われ、複式学級の解消など、へき地教育の充実を求める要望がありました。

引き続き、委員間討議では、南部地域・東部地域の両復興計画が持つ五つの課題について現状を確認し、スポーツチームの編成の困難さや木質バイオマス利用の促進などについて議論を行いました。

二月定例会においては、提出予定議案として次年度当初予算案をはじめ、南部復興計画及び東部復興計画の改訂などの報告を受けました。

また、平成二十六年二月十四日の大雪による県内農林業被害状況や地域活性化対策としての農家民宿の開業支援等についての質疑が行われ、道路防災対策においては「なら安心みちネットプラン」による取組を進め、危険箇所への解消に努められたいとの要望があるなど、各般にわたり活発な議論が交わされました。

以上のような経過を踏まえ、今後の取組の方向性について意見調整を行い、次の四点についてさらに要望するものです。

- 一 奈良県紀伊半島大水害からの復旧・復興について、平成二十六年度は集中復旧・復興期間の最終年度となることから、全ての避難者の帰宅の実現をはじめ、復旧事業の完了に目処をつけるとともに、復興に向けた取組の着実な推進に努められたいこと。

また、復興活動等、地域協力活動を行う「ふるさと復興協力隊」が地域に定着できるように、条件の整備に努められたいこと。

一 林業振興対策として、県産材の利用に係る補助対象の拡大をはじめ、県産材の魅力を次世代に伝えるため教育現場での体験学習の導入、更には県産材の利用拡大に向けた知事トップセールスの継続などに努められたいこと。

また、木質バイオマスの利活用については、県内への普及促進に向けて、実証実験結果などを踏まえ検討されたいこと。

林業後継者対策についても、新規林業就業者が定着できるように、安定した仕事量の確保のための林業事業者への支援や林業従事者の福利厚生面の支援、労働条件の環境整備などの諸対策に引き続き取り組まれたいこと。

なお、公益財団法人林業基金については、平成二十八年度末をもって解散されることとされたが、同基金の役割を代替する振興対策を講ぜられたいこと。

一 観光振興対策としては、南部・東部地域の自然や歴史などの魅力の発信に努め、「なんゆう祭」などのイベントの開催や農家民宿の開業支援などにより、滞在型観光による訪問者の増加などに取り組みられたいこと。

一 へき地教育としては、南部・東部地域の教育環境の特徴を踏まえ、複式学級の解消に努めるとともに、複式学級の授業の充実に努めら

りたいこと。また、小規模校においては、児童生徒が近隣校とのスポーツや文化の交流を通して、体力向上や豊かな人間性を育むことができるよう取り組まれないこと。

なお、今後も、当委員会においては、産業振興の強化と安定した就業の場の確保、安全、安心、快適な生活を支える社会基盤の整備など、南部振興計画及び東部振興計画に関することについて、引き続き慎重に審議を行ってまいりたいと考えております。

以上、申し上げて中間報告といたします。